



■2011年7月のマンスリーNEWS 第84号



皆さんいかがお過ごしですか？

当社もいよいよ夏本番を迎え、我々飲料業界も戦闘モードに入ってきました。と言いたいところですが、今年は震災の影響で商品不足や節電のこともあり、いまいち業界も盛り上がりすぎてこないというのが本音です。しかし飲料業界各社はそんな中でも虎視眈々と自社シェアを上げようとしている様子が伺えます。巷の自販機は最近の暑さもあいまってまたもや売り切れランプ点灯続発状態になってきています。やっと商品不足が解消されたかと思っていたら、この暑さで供給が間に合わない状態になってきているのが自販機業界の状況です。

しかしアークルでは昨月から商品を自販機に満タンにする動きを重視していたので、他社よりも売り切れ発生が少なくなっていると思います。そうは言ってもこの暑さと湿度（この原稿は7月頭に書いています）です。ものすごく忙しいことには変わりはありません。今夏も昨年と同様の夏がくるのでしょうか？

さて当社は毎年6月が決算となっています。昨期4 2期は昨年対比二桁増の結果を出すことができました。これは昨年の猛暑効果と、震災後の特需の影響が大きく決して実力で勝ち取ったものではありません。そういう意味では「業績が良かった、がんばったね。」という感じはまるでなく、それよりも今後の不安が増大したというのが本音です。今後の不安は自販機に対する否定的な見方（節電という意味で）や、昨年のような天気は望めるか？など考えればキリがありません。しかし私達は自販機については「お客様のニーズに答える自販機作り」これを4 3期のテーマとして掲げます。なぜお客様のニーズに答える自販機なのか？それは自販機の節電と叫ばれる今、一番ムダなのは売れない自販機であって”売れない=不要=電気ムダ”ということで、その逆で必要とされる自販機であれば、多少電気を使っても活用されるべきというのが我々の考え方です。

当社も震災後、売れない必要性のない自販機を撤去しました。また節電効果の高いヒートポンプ機を導入スピードも上げています。つまり、経済的には積極的に行動し結果、節電が出来効率も上がるという方向にしていきたいと考えています。

7月に入り、節電がより大きく叫ばれる中自販機を取り巻く環境はより厳しいものになっています。企業などでは一律15%削減を義務づけられ、自販機の停止や引き上げなども、ちらほら聞こえるようになってきました。例えば工場ですら今まで10台の自販機が設置してあり、それを2台のみの稼働にするなどの極端な例などが出てきています。そうすると止められてしまった飲料メーカーは売り上げゼロ、しかし稼働させてもらえるメーカーはものすごく売り上げが上がりますが、フォローが追いつかなくなる場合もあります。



これは極端な例ですが、エアコンの温度を28度に設定されただけでさえ暑く、飲料水の需要が増加しているのに自販機稼働台数が足りないなんて事になってしまいます。

そう考えると、自販機は悪者に見られがちだったこの数ヶ月ですがとてもニーズが高く必要とされるものということがよくわかります。

家庭に置き換えてみたら、自販機は冷蔵庫のような存在なのかもしれません。今、冷蔵庫の無い生活など考えられません。そうであれば自販機撤去とか停止という消極的節電という考えよりも、ヒートポンプ自販機やLED自販機のような最新の自販機を導入するといったような積極的節電を考えるべきと皆さんは思いませんか？

街にはまだまだ古い自販機が多く設置しています。メーカーの予算の都合もあるかもしれませんが、新台導入を急ぐということと、売れない自販機の撤去、この2つを進めることで自販機業界はかなりの節電ができます。

今回の原子力発電の被災は多くのことを私達に投げかけました。巷では原子力が完全に悪者になっています。しかし原子力は安価で電力をつくるのが出来るのはまぎれも無い事実です。再生可能エネルギーとか言って、ソーラーや風力が注目されていますが、これらのエネルギーに頼れば電気料アップは免れません。電気料が上がれば、産業界に与える影響はかなりのものです。日本の国際競争力に関わる問題にもなるでしょう。この問題はどうか単純な問題ではなさそうです。

今後日本は財政面で年金などの社会保障の問題のほか、消費税アップ、赤字国債などたくさん問題を抱えています。さらに今回電力の問題が加わったということになりました。今後の日本を悲観的に見ることは簡単なことです。しかし私達のような商売人はそれにどう対応して自分の商売を生かしていくかを考えていけばよいということなのでしょう。

皆さんはどう考えますか？

■コラム

■先月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5		SUNTORY売れ筋ベスト5		JT売れ筋ベスト5	
1位	ダイドーブレンドコーヒー	1位	ボス贅沢微糖	1位	ルツインパクト微糖
2位	デミタスコーヒー	2位	ボスレインボーマウンテン	2位	ルツインパクトマスターズ
3位	ブレンドスペシャル	3位	ボスカフェオレ	3位	ルツクリーミーカフェアイス
4位	Mコーヒー樽	4位	ボス無糖ブラック	4位	ルツプレミアムリッチ
5位	BC葉の茶朝摘み450P	5位	ボス洗練の極み	5位	ルツインパクトブラック

■コラム

■タイ・チャンタプリーへ消防車(はしご車)寄付

私の所属しているクラブでは国際奉仕の一環として昨年に引き続き今年もタイへの消防車寄付を行いました。昨年はタイのナコンラチャシマーへ、そして今年はカンボジアに程近いチャンタプリーという市への寄付となります。当クラブではこれでなんと9台目の寄付となります。

昨年のレポートはナコンラチャシマーのスラム街の保育施設へのチャリティのレポートをマンスリーでは取り上げましたので、消



防車寄付の詳細を書きませんでした。

実は前は実際の消防車が贈呈式に間に合わないというハプニングがあり、贈呈式自体盛り上がりがないものでした。しかし、今回は実際のはしご車もあり、そして私達と消防のレスキュー隊（引退された人）が同行し、はしご車の使い方を伝授するとともに、贈呈式の最後にはそのはしご車で放水のデモンストレーションを行うという、かなり盛り上がる贈呈式となったのです。

私達が訪タイしたのは6月の初旬、タイは雨季真っ盛りでたびたびひどいスコールに見舞われました。

今年は消防署の訪問以外に、チャンタブリーの小学校にも訪問するというので、たくさんの子供達との交流を楽しめると期待を膨らましての訪問でした。当クラブのメンバーは過去の経験から貧しく、ひどい環境の中で学習している子供達を想像していたようで、鉛筆やノートやサッカーボールなどのチャリティを用意していました。

私はその想像に行く前からとても懐疑的でした。カンボジアやバングラディッシュならともかく、タイ・チャンタブリーのようなそこそこ大きな都市の小学校でそんな環境でいまだに勉強しているだろうか？また、そこへ鉛筆やノートをチャリティしたところで子供たちは喜ぶのだろうか？そんなものを持っていくより、将来日本に興味を持ってもらえるような文化交流みたいなものを企画するなどのしたほうがいいのではないかなんて思っていました。

実際に小学校に訪問してみると、私の予想は的中したようです。みんな清潔な制服を着て、立派な校舎を持ち日本の小学校となんら変わりのない状況でした。聞くところによるとこのあたりの子供達の識字率はほぼ100%に近いようで、想像していた状況とはかなりギャップがあったようです。

しかし子供達は楽器を演奏し歌を歌い、暖かく私達を迎えてくれました。子供達のはにかんだ笑顔がとても印象的で、帰り際私達にいつまでも手を振ってくれていました。

帰りのバスの中で、私達をもっと必要されている子供達は世界中にたくさんいるだろう。その手助けをすこしでも出来たらなんてあらためて思う自分がいました。



この日の夜、チャンタブリーの大勢の関係者とのパーティーです。参加者は100名を越えている大きなパーティーとなりました。タイの方は基本的に英語をしゃべれる方が少ないのでコミュニケーションが取りづらいのが難点です。

パーティーは夜7時ぐらいから始まったのですが、非常に面白いのはただ何のアナウンスも無く知らないうちに始まっているのです。これがタイ流なのかもしれません。約1時間ほど食べたり飲んだり談笑したりという状況が続き、やっと司会者のアナウンスがあり式のようなものがはじまりました。

市長や偉い方の話があり、いよいよ私達がステージに立ち自己紹介をします。事前に私達の自己紹介をタイ語に訳してもらおうように通訳さんに渡しておき、準備ばっちりの自己紹介となりました。



我々のメンバーで東北大震災の生々しい写真集の”アサヒグラフ”を持参していた人がいたので、それを皆さんに見せると興味深げに写真を見入っていました。タイもプーケット島などはスマトラ沖地震でやられているので他人事ではないというスピーチがしている人がいました。またタイでも日本への震災チャリティを日本の人にとっては少ないかもしれませんがしていますという発言もありました。



さて、翌日は消防署で盛大なはしご車授与式です。

まぶしい光が照りつける中、消防署で待っていたのはなんとパレードカーです。パレードカーと言っても古い遊園地にあるようなトロッコのようなもので、それを消防車で引っ張り町中を1時間ほど回るので。パトカーに先導され、途中ブラスバンドを加わりど派手なパレードとなりました。

町の人たちは笑顔で手を振ってくれるのですが、何のパレードか絶対にわかってないと思います。そんないい加減な感じがタイなのかもしれまん。

私達が昨日から小学校、そしてこのパレードに参加している間、一方ではレスキューのS氏はこちらの消防隊の人々に、はしご車の使い方の伝授を一生懸命行っていました。この式典の最後にはこの伝授した成果を皆さんの前でデモンストレーションすることになっているからです。

S氏に前の晩、「こちらの消防の人達はどうですか？」と聞いたところ「覚えは悪くないけど指差し確認が何回言っても出来ないんだよね。」と少し困惑顔で話していました。

さて、パレード、式典と終了しいよいよチャンタブリー消防隊によるはしご車のデモンストレーションです。うまくできるのか？大注目の中デモンストレーションを始めようとした瞬間こちらの雨季特有の大雨が降り始めたのです。急遽デモンストレーションは中止。雨がやんでからとなりました。なんとタイミングが悪いのでしょうか。やや早めの昼食と休憩で1時間以上空いたでしょうか。ようやくデモンストレーションの再開です。しかし残念ながら参加者の半数は帰ってしまいギャラリー数は半減です。しかし気合を入れてチャンタブリー消防隊のメンバーははしご車を操っていきます。最後ははしごを目一杯高くしその上からの放水です。たくさんの拍手の中、S氏のすがすがしい笑顔がとても印象的でした。S氏とチャンタブリー消防隊の人々からは何か熱いモノを感じることができました。



■コラム

■激ウマ!B級グルメ情報 第42弾

[近江八幡で絶品のバームクーヘンに出会う](#)

皆さんはクラブハリエのバームクーヘンをご存知ですか？

デパ地下大好きな人は知らない人はいないと思います。私もこのバームクーヘンは大好きなのですが、なかなか食べられません。なぜならどのデパ地下でも大行列しているからなのです。

このクラブハリエってどんな会社がやっているのか、全然知らなかったのですが、実は今回、近江商人の里を訪ねて近江八幡に行ったとき、なんと偶然に発見してしまったのです。実はこのクラブハリエは、明治時代創業の老舗和菓子の「たねや」という会社が経営しているそうです。



今回偶然にも発見(?)したのは近江八幡の八幡山ロープウェイ乗り場の近くに日牟禮(ひむれい)八幡宮の目の前。レンタカーをここの駐車場に置き近江八幡の市内観光を始めようとしたそのとき、まるで結婚式場のような建物が八幡宮の前にあるのです。神社と結婚式場、これらはセットだなど何の違和感も覚えず気にも留めずに観光を始めました。観光も終わり駐車場に戻ってきた私は、その建物を何気覗いてみたのです。するとどうやら、これは結婚式場ではなく何かのお店だということに気づいたのです。正面にはクラブハリエと看板があります。もしかしたらクラブハリエって、デパ地下のバームクーヘンのクラブハリエ?!なんて思いながら店内に入るとなんとガラス越しにバームクーヘンは棒に巻かれた状態で見えるではありませんか。

皆さんは思わぬところで自分の好きなものに出会ったときの感動ってありませんか?まさに今回はそんな状況で、思わず「一人3個まで」と書いて店頭の注意書きを無視して「5個ください」とお願いしてしまいました。すると店員さんが笑顔で「今日はそんなにお客さんがいないのでいいですよ。」「いつもは一杯なので、お客さんはラッキーですね。」なんて言われバームクーヘン5個ゲットです。



東京のデパ地下ではいつもお店の前を歩いて「この行列じゃまた買えないな」なんて思いしているのもあって、味はやはり美味しいです。特徴は回りを砂糖でコーティングしてあって、中身はとともやわらかくふんわり。今までのバームクーヘンのイメージが一変されます。

ところで、何で近江八幡?なのか?って。実は今回、今後の商売のヒントをつかめればと思い、近江商人の里を訪ねてたのです。近江商人をルーツとする企業は今でもたくさん健在していて、どんな時代でも商売に対する考え方は不変であることを証明しています。混迷している時代だからこそ、このように商売の原点を見つめることは大切なのかもしれません。ということで、今月号ではグルメ編で近江八幡を紹介しましたが、来月号で近江商人の里レポートはしっかりと報告しますので楽しみに。

皆さんもし京都に行かれることがあったら、一つ前の米原駅で下車して在来線で15分、すると京都とは違った古都に出会うことができます。機会があったらチャレンジしてみてください。

店名: **クラブハリエ HIMUREI VILLAGE**
住所: **滋賀県近江八幡市宮内町日牟禮ビレッジ**
TEL: **0748-33-3333**



■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは6名が更新中です。

- ・所長のブログ (小田原H所長)
- ・マネージャーの部屋へ
- ・つんつるてんSTORY
- ・販促課オオクワ80mm
- ・産地直送!新鮮ネタ(海老名Nチーフ)



近江商人の里、次号楽しみに

・パソオタの独り言 (パンドラの箱
を開けて最後に出てくるの
は・・・)

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2011年度のマンスリーNEWS

⇒	2011.06	アークル	マンスリーNEWS
⇒	2011.05	アークル	マンスリーNEWS
⇒	2011.04	アークル	マンスリーNEWS
⇒	2011.03	アークル	マンスリーNEWS
⇒	2011.02	アークル	マンスリーNEWS
⇒	2011.01	アークル	マンスリーNEWS

■マンスリーNEWSアーカイブ

⇒	最新	マンスリーNEWSトップページ
⇒	2010年度	2010年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2009年度	2009年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2008年度	2008年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2007年度	2007年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ
⇒	番外編	マンスリーレポート番外編

